

夢かなってク 通信

～ かなテク西部に入校し、自分の夢をかなえた方のメッセージです ～

学びの先にある「働く自分」の姿

機械CADシステムコース Y・Tさん (21歳 男性)

特にあてもなく、大学を目指し勉強をしてきましたが、学びの先にある「働く自分」の姿を思い描き、技術校に入校しました。出来ないことを出来るに変え、自信に繋げて、仕事の中でしたいことを描けるようになりました。今は、仕事の中で成し遂げたいことがあると胸を張って言えます。

「やりたいことが見つからない“あなた”が、素晴らしい技術者として私とともに働くことを、心から待ち望んでいます！」という、応援のメッセージです。

本当にやりたいこと、人生の持てる時間の全てを注ぎ込みたいと思えるものと出会える人間はとても少ない。よしんば見つけることができたとしても、種々の事情で道が閉ざされることがほとんどだ。

それゆえに大学や専門学校に行く人も大勢いる。寧ろ大半はそうなのだろう。そして最終的には就職する。せっかく学校に行ってもそこで学んだこととは無関係な職に就く人も少なくない。

それならば最初から働くことを前提に、仕事に直接関わることを学んだほうがいいのではないだろうか。というのも、何にしても実際にやってみなければわからないからだ。行きたいと思って入学した学部でも、講義を受けているうちに本当に勉強したいことではなかったと気付いたり、向いていると思ってやってみた仕事で思うよ

うに成果を出せなかったり。多くの人がこれらのような、或いは近い経験があるはずだ。

訓練校では就職を明確な目標として勉強をしている。コースによって就職先の業界もほぼ決まっているので、学びの先にある「働く自分」の姿が想像しやすい。

訓練校に通う人のほとんどは、各々の選択したコースの分野を学ぶのは初めてだ。それでも皆しっかりと知識と技術を身につけ、最後には胸を張って就職していく。そのようになることができたのは、訓練の中で自分に自信がついたからだろう。実際にやってみることで出来ることと出来ないことがわかるようになる。仕事では出来ません許されない。就職を前提にしているからこそ、そういったときに試行錯誤し出来ないを出来るに変えようとする。そして変えることが出来たとき、それが自信に繋がっていく。それを繰り返すことで、仕事のなかでしたいこと、目標にすることが具体的になる。私も今は仕事の中で成し遂げたいことがある。

もちろん、訓練校に通ってみて自分に合っていないと先述と同じように感じることもあるだろう。これは先のことにも共通しているが、自分に適さないことを知ることが出来るのもそれはそれで儲けものだろう。

訓練校には実に幅広い年代の人間がいる。学生時代、初めての就職で自分のやりたいことに疑問を感じ訓練校に通うことを選んだ若者たち。若者と呼ばれる時が過ぎ、責任を負うようになるなかで新たな一步を踏み出そうとする大人たち。若者に負けじと貪欲に学び続ける老いて尚壮健なる方々もいる。

ここに通う誰もが切磋琢磨し、可能性を模索している。やりたいことが見つからないと悩んでいる人も、これから何をしていけばわからなくなっている人も、是非一度この訓練校へ足を運んではいただけないだろうか。そして自分にも出来るということを直に感じ取ってほしい。

あなたが素晴らしい技術者として私とともに働くことが出来ることを、心から待ち望んでいる。